第２　米穀の需給の見通しに関する事項

１　平成24／25年の需要実績

⑴　需要実績の対象期間及び対象米穀

米穀の需要実績については、前年７月から当年６月までの１年間について算出することとしています。

また、需要実績の算定の対象となる米穀は、国内で生産された水稲うるち米及び水稲もち米から、米穀の需給調整実施要領（平成20年１月31日付け19総食第949号農林水産省総合食料局長通知）第３において需給調整の取組として取り扱う米穀等として定める加工用米その他主食用に充当されない米穀を除いた米穀（以下「主食用米等」という。）としています。

⑵　算出方法

需要実績は、主食用米等の供給量と民間流通米の在庫量の増減を基に算出します。

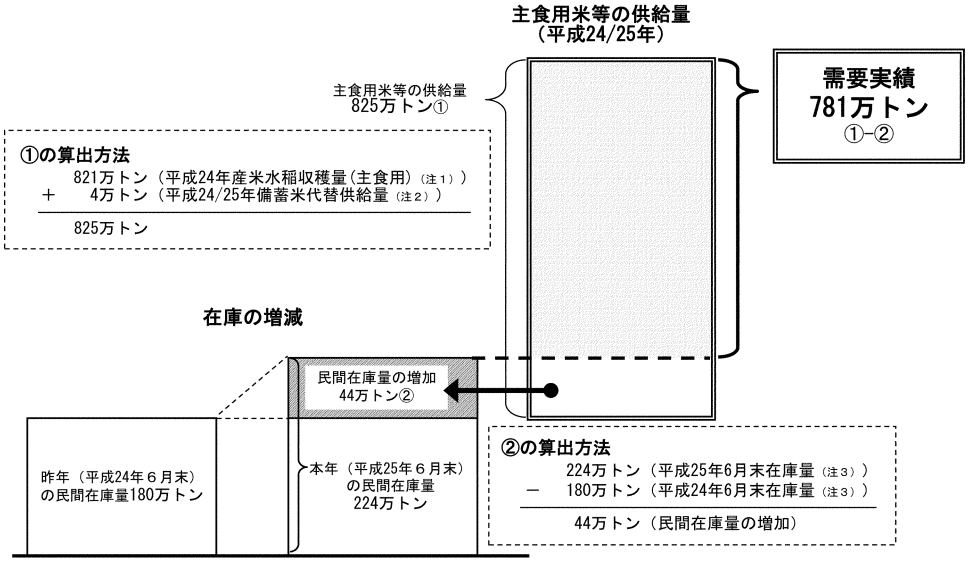
表１　平成24／25年の需要実績の算出方法

需要実績＝①－②
①　平成24／25年主食用米等の供給量
注：主食用米等の供給量は、農林水産省大臣官房統計部公表の水稲収穫量（主食用）に、主食用として政府備蓄米から代替供給を行った数量を加えた数量である。
②　民間流通米の在庫量の変動状況（平成25年６月末在庫量－平成24年６月末在庫量）

⑶　全国の需要実績

前記方法により算出した平成24／25年（平成24年７月から平成25年６月までの１年間）の需要実績（確定値）は、図１のとおり781万トンとなります。

図１　平成24／25年の需要実績



注１：水稲収穫量は、平成24年産米の水稲収穫量（主食用）(「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）である。

注２：平成24／25年備蓄米代替供給量は、震災による倉庫被災分及び平成23年産米の特別隔離対策による隔離分について、政府備蓄米から代替供給を行った数量である。

注３：６月末の民間在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10ａ以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたものである。

注４：ラウンドの関係で計が一致しない場合がある。

２　全国の平成25／26年及び平成26／27年の需要見通し（推計値）

平成25／26年（平成25年７月から平成26年６月までの１年間）及び平成26／27年（平成26年７月から平成27年６月までの１年間）の全国の需要見通しについては、平成16年７月策定の「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」(以下「基本指針」という。)において最近の米の消費量を踏まえて採用した手法により、平成８／９年（平成８年７月から平成９年６月までの１年間）以降から直近の平成24／25年までの全国の需要実績を用いてトレンド（回帰式）で算出すると、図２及び表２のとおりとなります。

図２　平成８／９年～平成24／25年の全国の需要実績を用いた算出方法

（単位：万トン）

年	x	需要量(y)	
8／9	1	943.8	
9／10	2	912.9	
10/11	3	907.3	
11/12	4	885.9	
12/13	5	911.5	
13/14	6	872.1	
14/15	7	894.7	
15/16	8	861.6	
16/17	9	865.4	
17/18	10	851.7	
18/19	11	837.5	
19/20	12	854.5	
20/21	13	823.6	
21/22	14	814.1	
22/23	15	820.0	
23/24	16	813.3	
24/25	17	781.1	
25/26	18	786.6	（推計値）
26/27	19	778.2	（推計値）

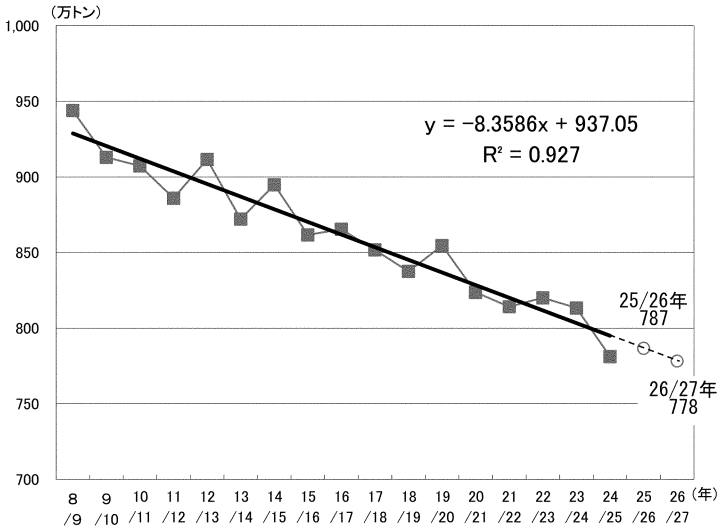


表２　平成25／26年及び平成26／27年の需要見通し（推計値）

平成25／26年	787万トン
平成26／27年	778万トン

３　平成25／26年の需給見通し

平成25／26年の需給見通しは、表３のとおりです。

⑴　供給量

①　平成25年６月末の民間在庫量（確定値）は、224万トンです。

②　平成25年産主食用米等の生産量は、818万トン（平成25年10月15日現在の平成25年産米水稲の予想収穫量（主食用））です。

③　この結果、平成25／26年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、1,042万トンとなります。